

CSOかんざき

平成31（令和元）年度事業報告

事業目的

神崎で醸成された文化やそれに伴う活動を継承し、地域が取り組むべき課題に積極的に対応し、様々なCSOの円滑な連携を促し、活力ある地域づくり寄与する事を目的とする。

総括的事項

CSO活動拠点「神幸館」設置活動14年目を迎え、CSOの施設利使用（定例会や会議、サークル活動など）年間約4,100名の利活用があり、様々な相談業務対応など含めると年間約1万人以上出入りがありました。

利活用はまだまだ増加傾向にあり、様々なCSOや地域より様々な高いニーズを肌で感じています。

CSO主体で行われる長崎街道かんざき宿場まつりやかんざき神幸食フェスタ、みゆき大祭など地域において代表されるイベント等の窓口業務をはじめ、神崎町子どもクラブ連絡協議会などの事務委託業務なども拠点業務として確立しており、中間支援組織としての機能が更に高まってきました。

また、隣接する神崎市勤労者体育館の平日利用者窓口機能実施にて多くの利用者（社会スポーツ系CSO）の利便性も高まり、新たな拠点機能となっています。

命題である市民協働推進については、地域地縁CSO活動等を中心に伝承文化各種行事などがあらためて重要な地域コミュニティとしての見直しが見直しがもたれており、それぞれの地域ニーズに合わせた協働活動認識への高まりが見られ、更なる推進充実が見られてきました。

第10回つなごう地域つなげよう気持ち「地域人づくり・まちづくりサミット」は『まちづくり×SDGs まちの生き残り戦略』講座と神崎市まちづくり活動支援事業活動団体発表を行い、多数の市民やCSO、企業より48名の参加となり、まちをあげて取り組むSDGsの共通ツールを生かした持続させるまちづくりに繋がるサミットとなりました。

「地域共有課題の解決と地域の多種多様な団体の人的ネットワークの形成」も様々なしなで推進中であり、今後も継続して実践サポートを行い、さらなる市民・CSO主体による協働のまちづくり推進・実践構築にて引き続き「未来へつなげる地域づくり」を目指し活動しました。

櫛田宮・長崎街道の歴史的建築物と歴史文化を生かした活気ある中心市街地の再生活動として、まずは行動へと中心市街地再生へ向けた試験的要素も持つ、かんざき「櫛田の市」を毎月継続して行いました。

「第8回神幸節分祭」では、より縁起深く盛り上げようと地域社会へ多くの除災招福
と櫛田

宮はもとより周辺の中心市街地の賑わい創造を願って地域総鎮守である櫛田宮の参道
へ縁ある多数のCSOにて大型のお多福面設置を行いました。

毎回、設置期間中の多数の来場者もちろんの事、8回目の神幸節分祭は「櫛田の市100
回

達成記念感謝」として開催し、櫛田の市は過去最高の77店出店となり、神埼市内外か
らのべ7,000人の来場者が詰めかけ、大盛況となりました。

すっかり、皆さんから親しまれる神埼の代表的な催しとなり、近年を代表する創造型地
域コミュニティとなっています。

さらに、継続して行っているまちづくりワークショップも中心市街地拠点づくりを中心
に引き続き行っており、単なる商業者だけの市街地（商店街）再生活動では無く、中
心市街地の再生が地域そのものの（ひいては神埼市）大きな社会課題としての取組みが
見られ、地元自治会や関係CSOによる重点協働活動として、拠点利活用等による将来
の再生へ向けた地域の士気高揚へ繋がった活動となっています。

お陰様で今年度も様々な事業を行う事ができました。

これらの事業実施について、神埼市や佐賀県はもとより、市民や各種CSOの方々の深
いご理解と支援・協力にて成り立っており、心より御礼申し上げます。

事業内容

1 CSO活動拠点としてのCSOの業務推進・活動支援

- 各種CSO、サークル等への活動場所としての会場貸し出し（別紙月別明細）
- 各種CSO等窓口業務委託受入推進ならびに自立支援他
神埼町子どもクラブ連絡協議会事務委託
子供みこし振興会業務委託
締元行列保存会事務委託
三組締元奉納実行委員会事務委託 他
- 各種イベント窓口事務局受入

第2回かんざき神幸食フェスタ実行委員会事務局受入（窓口業務他全般）
第25回長崎街道かんざき宿場まつり事務局受入（窓口業務他全般）

- 神崎市郡医師会事務局・神崎ライオンズクラブ事務局受入管理業務
- 神崎市勤労者体育館の利用者窓口業務

2 市民協働推進

- 神崎市まちづくり市民活動支援事業 相談他サポート
- CSO人材育成事業 研修会、交流会等の開催

■第10回つなごう地域 つなげよう気持ち

「地域 人づくり・まちづくりサミット」開催

- 神崎市まちづくり市民活動支援事業「CSO活動事例発表会」
うたごえ・サロン「ピカピカ」～盛り上がりと今後～
発表団体 認知予防の会「ピカピカ」
- 『まちづくり × SDGs まちの生き残り戦略』講座
講師 佐賀SDGs官民連携円卓フォーラム 幹事長 大野博之氏

まちにずっと仕事があって、人がずっと幸せに暮らせる未来。

これを作り出すためのツールがSDGs。

企業も、行政も、CSOも、大人も、子どもも

みんなが一緒に取組める共通ツールがSDGs。

今、政府も、自治体も、企業も取り組み始めたSDGs。

SDGsでまちを元気にさせる方法を一緒に考えよう。

- 拠点として関わる各種事業に常に「しかけ」を組み市民協働推進啓発活動
- 佐賀県CSO提案型協働創出事業窓口として参画対応
- 佐賀県より採択された「市町業務の担い手あり方についての提案」
「中心市街地賑わい再生活動に関わる運営担い手づくり事業」として継続活動。

3 中心市街地賑い再生事業

- 神埼市中心市街地賑い再生「まちづくりワークショップ」実施
神埼市中心市街地拠点づくり事業への参画 平成21年より窓口事務局
長崎街道門前広場ならびに旧古賀銀行神埼支店 利活用・管理運営等協議
を実施

- かんざき「櫛田の市」の取組み
毎月第1土曜日に長崎街道門前広場 旧古賀銀行神埼支店 櫛田宮境内（能舞台
他）

を会場に開催。（令和2年3月のみ新型コロナウイルス拡散防止のため中止）
おかげ様で、多くのなじみ客が増加しており、人が行き交う催しとして定着して
令和元10月で8周年を迎え、令和2年1月で第100回を迎える事ができ、2
月には【櫛田の市100回達成記念感謝 第8回神幸節分祭】を開催しまし
た。

季節や地域既存行事等へ併せての開催を心掛けての運営をはじめ、毎月の来場者
タマゴのつかみ取り、お客様感謝抽選会等実施して来場集客アップを企画実施。

昨年度からはサポーター団体「かんざきマーケット」並びに商工会参画にて飲食、
ア
クセサリー等コーナー増強や子どもコーナー読み聞かせ、昔遊び、各種体験コー
ナー
設置等の出点数増加に伴い、若い世代からの来場がかなり多くなりました。

元旦（午前0時）櫛田宮初詣客へのPRあめ湯ふるまい活動や縁ある各種CS
Oにて
櫛田宮参道に大型お多福面設置を行い、櫛田宮や櫛田宮総代会と共催して櫛田の
市に
併せて行う「第8回神幸節分祭」をはじめ、かんざきマーケットによる旧古賀
銀行神
埼支店での様々なワークショップ、神埼市子連の子ども相撲大会同日開催、神埼
そう
めん協同組合の協力を受けて「そうめん流し」の実施など様々なCSOからの協
働体
制を図る事ができています。

神幸食フェスタ、宿場まつり体験ボランティア

九年庵一般開放での留学生ガイド他

- (公) 佐賀未来創造基金参画
- 神崎市総合戦略会議参加
- 椋（むく）の木保全事業（馬場川沿い西馬場）
- 櫛田宮 ぼんぼり設置時作業全般窓口業務
お多福面（1月）花見・みゆき大祭（4月）宿場まつり（7月）
- その他各種事業関連マスコミ等取材対応

7 定期的な運営委員会の開催

基本的に月1回開催 今年度は12回開催